



1 にはあてはまる数をかきましょう。

(3点×4)

① $95\text{dL} = \text{ L}$

② $346\text{cm} = \text{ m}$

③ $4178\text{m} = \text{ km}$

④ $623\text{g} = \text{ kg}$

2 にはあてはまる数をかきましょう。

(3点×4)

① $2.64\text{m} = \text{ cm}$

② $1.771\text{kg} = \text{ g}$

③ $0.943\text{km} = \text{ m}$

④ $3.002\text{kg} = \text{ g}$

3 4.926はどんな数ですか。にあてはまる数をかきましょう。

(4点×3)

(1) 1をこ, 0.1をこ, 0.01をこ, 0.001をこ あわせた数です。

(2) 4とをあわせた数です。

(3) 0.001をこ 集めた数です。

がんばれ!



4 次の数をかきましょう。

(4点×4)

(1) 0.1を5こと 0.01を9こ あわせた数 []

(2) 0.01を8こと 0.001を2こ あわせた数 []

(3) 0.01を718こ 集めた数 []

(4) 0.001を403こ 集めた数 []



1 60円持って買い物に行きました。あとの問題に答えましょう。

(8点×2)

(1) 1に6円のあめは何こ買えますか。

(式) =

答え こ

(2) 1に20円のあめは何こ買えますか。



 を使って、計算のしかたを考えましょう。



★10円玉の6こと 2こをくらべて、商を3と見当をつけます。

20を3倍すると60になるので、

(式) =

答え こになります。

2 80円で、1に30円のみかんは何こ買えますか。

(10点)



★10円玉の8こと 3こをくらべて、商を2と見当をつけます。

30を2倍すると60で、20あまります。

(式) = あまり

割る数×商+あまり=わられる数の式で答えをたしかめましょう。

答え こ、あまり 円 になります。



3 つぎのわり算をしましょう。

(2点×12)

① 40÷20

② 80÷20

③ 50÷10

④ 60÷30

⑤ 80÷40

⑥ 90÷30

⑦ 30÷20

⑧ 70÷30

⑨ 80÷50

⑩ 70÷20

⑪ 90÷40

⑫ 80÷30

4 120円で、1に30円のみかんは何こ買えますか。 (10点)



★10円玉の12こと 3をくらべて、商を4と見当をつけます。

30を4倍すると120になります。

(式) = 答え こ

5 150円で、1本40円^{びつ}のえん筆は何本買えて、何円あまりますか。 (10点)



★10円玉の15こと 4をくらべて、商を3と見当をつけます。

40を3倍すると120で、30円あまります。

(式) = あまり 答え 本, あまり 円

6 $160 \div 30$ の計算を下のようにしました。まちがいをみつけて、正しい答えをかきましょう。 (6点)

$$160 \div 30 = 5 \text{ あまり } 1$$

7 つぎのわり算をしましょう。 (2点×12)

① $180 \div 30$ ② $250 \div 50$ ③ $480 \div 60$

④ $140 \div 20$ ⑤ $560 \div 70$ ⑥ $400 \div 80$

⑦ $130 \div 20$ ⑧ $250 \div 40$ ⑨ $510 \div 60$

⑩ $370 \div 80$ ⑪ $700 \div 90$ ⑫ $600 \div 70$



1 $84 \div 21$ の計算のしかたを考えます。□にあてはまる数を書きましょう。(10点)

(1) 84を□, 21を□とみて, $80 \div 20$ から商の見当をつけます。

(2) 商を□と見当をつけて, 21を□倍すると84になります。

(3) $84 \div 21 = \square$ になります。

2 $80 \div 20$ と $84 \div 21$ の筆算のしかたを考えましょう。(8点×2)

(1)

		ア	4
2	0	8	0
		8	0
			0

① 十の位アに商はたちません。

② $8 \div 2$ で, 一の位のィに□をたてて

③ 20に4をかけてウに□をかきます。

④ 80から80をひいてエに□をかきます。

(2)

		ア	4
2	1	8	4
		8	4
			0

① 十の位アに商はたちません。

② $8 \div 2$ で, 一の位のィに□をたてて

③ 21に4をかけてウに□をかきます。

④ 84から84をひいてエに□をかきます。

3 次の計算を筆算でしましょう。(3点×8)

①

3	2	6	4

②

1	2	3	6

③

2	2	8	8

④

2	3	6	9

⑤

2	4	7	2

⑥

4	7	9	4

⑦

2	5	7	5

⑧

2	3	9	2

4 $170 \div 34$ と $173 \div 33$ の筆算のしかたを考えましょう。

(8点×2)

(1)

				5
3	4	1	7	0
		1	7	0
				0

- ① 百の位や十の位に商はたちません。
- ② $170 \div 30$ と考え、 $17 \div 3$ で商の見当をつけます。
一の位のアに をたてて
- ③ 34に5をかけてイに をかきます。
- ④ 170から170をひいてウに をかきます。

(2)

				5
3	3	1	7	3
		1	6	5
				8

- ① 百の位や十の位に商はたちません。
- ② $170 \div 30$ と考え、 $17 \div 3$ で商の見当をつけます。
一の位のアに をたてて
- ③ 33に5をかけてイに をかきます。
- ④ 173から165をひいて、ウにあまりの をかきます。

5 次の計算を筆算でしましょう。

(3点×8)

①

3	1	1	8	6

②

4	3	1	2	9

③

2	3	1	3	8

④

5	4	4	3	2

⑤

2	2	1	3	8

⑥

4	5	1	4	1

⑦

3	2	1	7	6

⑧

6	3	4	7	5

6 色紙が290まいあります。32人に同じ数ずつ配ると、1人何まいになって何まいあまりますか。

(10点)

(式)

答え(1人 まい, まいあまる)



1 $65 \div 13$ と $187 \div 36$ と $169 \div 27$ の筆算のしかたを考えましょう。(10点×3)

(1)

$$\begin{array}{r} 6 \\ 13 \overline{) 65} \\ \underline{78} \\ \text{大きすぎる} \end{array} \quad \rightarrow \quad \begin{array}{r} 5 \\ 13 \overline{) 65} \\ \underline{65} \\ 0 \end{array}$$

見当をつけた商が大きすぎたときは、1小さい商をたてて計算してみましょう。

① $6 \div 1$ で、一の位に をたてて13に6をかけると になります。

② 見当をつけた商が大きすぎたので、商を

1小さい にして13に5をかけると になります。③ 65から65をひいてあまりは になります。

(2)

$$\begin{array}{r} 6 \\ 36 \overline{) 187} \\ \underline{216} \\ \text{大きすぎる} \end{array} \quad \rightarrow \quad \begin{array}{r} 5 \\ 36 \overline{) 187} \\ \underline{180} \\ 7 \end{array}$$

① $18 \div 3$ で、一の位に をたてて36に6をかけると になります。

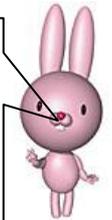
② 見当をつけた商が大きすぎたので、商を

1小さい にして36に5をかけると になります。③ 187から180をひいてあまりは になります。

(3)

$$\begin{array}{r} 8 \\ 26 \overline{) 169} \\ \underline{208} \\ \text{大きすぎる} \end{array} \quad \rightarrow \quad \begin{array}{r} 7 \\ 26 \overline{) 169} \\ \underline{182} \\ \text{大きすぎる} \end{array} \quad \rightarrow \quad \begin{array}{r} 6 \\ 26 \overline{) 169} \\ \underline{156} \\ 13 \end{array}$$

見当をつけた商が大きすぎたときは、1ずつ小さくしていけばいいよ。

① $16 \div 2$ で、一の位に をたてて26に8をかけると になり、大きすぎ。② 一の位に をたてて26に7をかけると になり、まだ大きすぎ。③ 一の位に をたてて26に6をかけると になり、あまりが になります。

2 522÷58の筆算のしかたを考えましょう。

(10点)

$$\begin{array}{r} 9 \\ 58 \overline{) 522} \\ \underline{522} \\ 0 \end{array}$$

① 商は一の位にたつから、けたです。

② 商の見当をつけると、52÷5で10になります。このようなときは、まず、をたてましょう。

商の見当をつけると10になるときは、まず、9をたててみましょう。



③ 58に9をかけるとになり、あまりはになります。

3 次の計算を筆算でしましょう。

(5点×12)

①

1	4	4	2

②

1	3	8	0

③

1	6	9	8

④

2	5	1	2	5

⑤

3	7	2	2	2

⑥

5	4	3	0	9

⑦

2	7	1	6	2

⑧

3	9	2	8	3

⑨

2	8	1	8	0

⑩

4	6	4	1	4

⑪

2	6	2	0	8

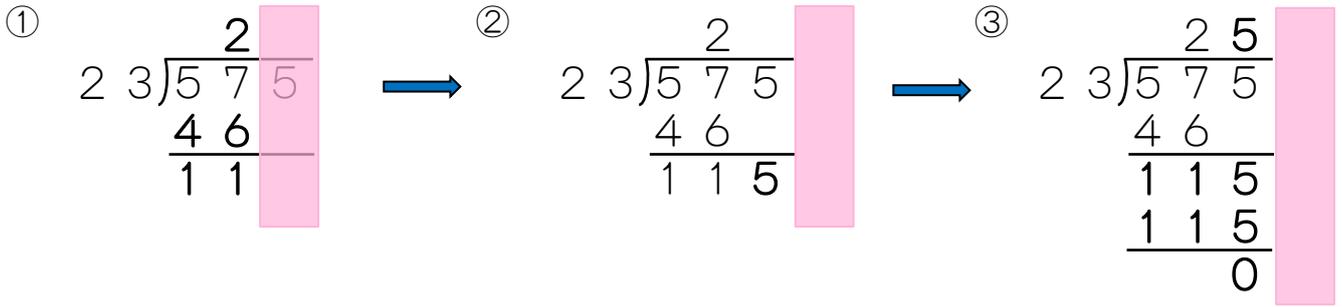
⑫

6	9	6	3	4



1 575 ÷ 23の筆算のしかたを考えましょう。

(14点)



① 57 ÷ 23で、十の位に を **たてて** 23に2を **かけて** 。
57から46を **ひいて** 。

② 一の位の を **おろして** 。

③ 115 ÷ 23で、一の位に を **たてて** 23に5を **かけて** 。
115から115を **ひいて** あまりは 。

たてる → かける
→ ひく → おろすを
くり返せばいいよ。



2 次の計算を筆算でしましょう。

(6点 × 6)

①

2	7	6	2	1
<hr/>				

②

1	6	6	8	8
<hr/>				

③

3	2	9	6	0
<hr/>				

④

3	5	8	6	7
<hr/>				

⑤

1	8	6	9	3
<hr/>				

⑥

2	4	7	3	9
<hr/>				



- 1 しおりさんは、 $789 \div 34$ の計算のまちがい^{せつめい}を説明しています。 (10点)

$$\begin{array}{r} 2 \quad 3 \\ 34 \overline{) 789} \\ \underline{68} \\ 109 \\ \underline{102} \\ 7 \end{array}$$

2は百の位ではなくて、
十の位にたちます。



- ★ しおりさんに習って、 $955 \div 28$ の計算のまちがい^{せつめい}を説明してみましょう。

$$\begin{array}{r} 3 \quad 4 \\ 28 \overline{) 955} \\ \underline{84} \\ 115 \\ \underline{112} \\ 3 \end{array}$$

- 2 商とあまりを求めて、答えのたしかめみましょう。 (3点×6)

① $80 \div 50$

② $300 \div 40$

③ $470 \div 60$

④ $24 \overline{) 61}$

⑤ $17 \overline{) 99}$

⑥ $36 \overline{) 320}$

- 3 次の計算を筆算でしましょう。 (5点×4)

①

2	8	5	6	

②

1	4	8	0	

③

4	4	3	9	6

④

5	7	4	3	2

